

同窓会だより

第59号

発行

長野県松本ろう学校同窓会

松本ろう学校 第41回 はと祭

松本ろう学校文化祭『第41回はと祭』について、下記の通りお知らせします。尚、母校からチラシ（プログラム）を頂きましたので、配布いたします。是非『はと祭』にお越しく下さい。

《日時》 10月8日（土） 校内公開

10月9日（日） 一般公開

《場所》 長野県松本ろう学校

〒399-0021 長野県松本市寿豊丘 820 番地

FAX 0263-85-1411



同窓生作品展

- ◆ 趣味で作られた『作品』 ・ 絵画、写真、工作などをたくさん出品してください！！
- ◆ ビデオ上映「同窓会創立70周年記念大会のスナップ」「同窓会の活動の様子」を行いますので、是非、見に来てください！



喫茶コーナー

▼ 10月9日（日） 11:10 ~ 14:30

- ◆ 同窓会として、コーヒー販売担当になりましたので、是非お出かけください。

※同窓生作品展の準備について

10月7日（金）の夕方（4:00 ~ 6:30）、8（土）の早朝（7:00 ~ 8:00）

母校・会議室にて準備を行いますので、作品を持参して展示してください。

- ◆ 同窓会係 ⇒ 小林陽子先生までご連絡ください。 FAX 0263-85-1411

大勢の皆様のご来場をお待ちしております！！

同窓会長あいさつ

松本ろう学校同窓会長 葦澤正敏

同窓会の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

松本ろう学校同窓会員並びに賛助会員の皆様には、日頃から学校同窓会活動に対して温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

6月30日朝8時16分、長野県中部で大きな地震が発生しました。私はちょうど会社に出勤した時でまったく気が付きませんでした。各市町村の災害時要援護者制度があるので連絡が来たのかもしれないませんが、聴覚障害者地域協会から至急の安否確認メールが届きました。そのメールを見て初めて地震があったことを知りびっくりしました。

長野県中部地震の震源地は「糸魚川—静岡構造断層帯」の中心にある「牛伏寺断層」の近く、震源の深さは4キロ、マグニチュード5.4でした。松本市震度5強、山形村震度4、塩尻市・安曇野市・岡谷市・諏訪市は震度3、テレビ画面の速報の字幕が流れていました。

牛伏寺近くの松本ろう学校は、一部ひび割れがありましたが、児童・生徒には怪我はなく無事でした。余震の心配もあり子供たちは午前中で下校になりました。同窓会員の皆様も全員が無事と知って安心しました。私も「家族や家に被害はないか、大丈夫か？」と県内外からメールが届きうれしかったです。大きな揺れを感じた松本市南部地域は屋根の瓦が落ち、青いシートを掛けた家が目につきました。棚の中の食器類が落ちて割れたり、本棚が倒れたりした会員もたくさんいて「すごく怖かった。」と言っていたようです。東日本大震災の後だけに「自分が被災者になったらどうしよう。」と不安になった方もいらっしゃるでしょう。私自身、防災の心構えがまだ出来ていません。具体的に何をすればいいかわかりませんが、今はお互いに連絡を取り合い、情報交換をして助け合っていくことが一番大切だと考えています。大きな災害が起こり、社会経済はさらに厳しく、ろう者に関わる福祉制度改革やろう教育が本当に良くなっていくのか不安です。お互いに助け合って「仲間がいるから安心して暮らせる。」そういった心のつながりを大切にしたいと思います。

さて、10月8日～9日は松本ろう学校の文化祭「はと祭」です。多くの方に参加していただきたいので、ご協力をお願いします。お友達を誘って見に来てください。

終わりに皆様のご活躍ご健康を、ご祈念申し上げます。

お悔やみ申し上げます

元県松本ろう学校長・住田正先生



住田正（すみた・ただし）先生が、去る5月29日、病氣療養中のところお亡くなりになりました。87歳でした。

松本市内出身。市内小学校教諭として勤務し、市教育委員会指導主事、県松本ろう学校長（6代・昭和48～51年度）、大町市立仁科台中学校長を務めました。退職後は松本城管理事務所研究専門として長く研究に情熱を注ぎ、講演や執筆活動などで地域に貢献されました。

●同窓会より弔電を送りました。改めてご冥福をお祈り申し上げます。

松本ろう学校だより



学校あいさつ

長野県松本ろう学校長 宇都宮通孝

同窓会創立70周年記念に植樹していただいたハナミズキが、昨年夏の猛暑や厳しい冬の寒さに耐え、5月に赤い一輪の花を咲かせました。成長を続けるハナミズキ、これからも小岩井先生の銅像とともに松本ろう学校で学ぶ子ども達を温かく見守ってくれることでしょう。

今年の学校のキャッチフレーズは“学び愛”。子ども達同士がお互いに学びあい、子ども達・保護者の皆様・職員同士の信頼関係(愛)を築いていきたいです。小さな努力を積み重ねていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

はと祭 10月9日(日) 一般公開

松本ろう学校生徒会長 赤羽卓磨

一昨年は、新型インフルエンザのため、一般公開中止。昨年は、全国聾陸上大会のため、規模を縮小。とても残念でした。

同窓会の皆さん、大変お待たせしました。

今年は、やっと通常のはと祭が戻って来ます。今年のテーマは「夢～明るい未来を信じて～」です。みんなで、はと祭を楽しみましょう。同窓会の皆さん、ぜひ、はと祭に来てください。

【災害情報】 松本で震度5強

去る6月30日(木)午前8時16分頃、長野県中部を震源とする強い地震があり、松本市内で震度5度・松本市外では震度3が観測されました。

● 会社の3階職場に着いた5分後の8時16分に・・・立ち歩いた瞬間、大きな揺れが起き、横より直下に揺れました。(あっという間に止んだ)机、棚、物置まで大きく動き、一部蛍光灯が落下。すぐ外へ非難し、また建物が倒れそう(ガラスが割れそうな)な位に揺れてきました。恐怖感で落ち着けませんでした。震源地(芳川村井)にかなり近いなので、今後が心配です。

(松本市神林の会社：H. A)

■ 松本市寿豊丘にある「松本ろう学校」も揺れを感じました。児童生徒は、午前中に下校となりました。被害は校舎のひび割れ、棚倒れもありました。

■ 南松本に住むろう者たちが、屋根落下、棚倒れなどもあり、非常にすごかったと言っていました。

※地震はまだ続っていますが、皆さん避難できるように心構えをしてください!

同窓会創立 70 周年記念大会



記念写真 平成23年4月30日 於・松本ろう学校体育館

◎来賓の皆様方をはじめ、参加者の皆様には、日頃より松本ろう学校同窓会の発展に対して温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

【来賓招待者】

降旗 久様、宇梶正徳様、西岡正人様、宇都宮通孝様、今井ますみ様、田中信光様、上條高明様、二村 清様、小林文子様 横山徳三様、刈間富子様、丸山秀樹様、浅野史行様、大塚吉晴様、山岡高弘様、山田眞爽子様、小林智明様



松本ろう学校同窓 会創立70周年記念大会に招待していただき、誠にありがとうございました。

記念大会では、内田君をはじめ、かつて附 属聾学校の専攻科で学んだ方たちと久し振りにお会いすることが出来ましたが、皆さんが信州の地にしっかりと根を下ろし、立派な社会人 として活躍しておられることは悦ばしい限りです。また、今回も記念植樹や備品の寄贈を行うなど、同窓会活動

を通して母校・松本ろう学 校を盛りたてていこうとする意気を強く感じました。

これからも松本ろう学校同窓会の益々のご発展をお祈りします。

(筑波大学附属聾学校同窓会長 浅野史行)

【聾史だより①】

うえはら か う え も ん 金庫開きの神様：上原嘉右衛門

内田博幸（日本聾史学会役員）

皆さん、「上原嘉右衛門」をご存知でしょうか？

上原嘉右衛門：1888（明治21）年～1973（昭和48）年。長野県諏訪市に生まれた。

明治36年、官立東京盲啞学校（旧国立筑波大学附属聾学校）尋常科を卒業、見習機械工として兼田健次郎工場に入社した。その後、父が経営する上原金物店の付属工場を開設し、自修研究に精を出した。大正6年（当時30歳）上原加工所を開業し独立、ネームプレート、バッヂなどを作り、金庫の修理も手がけてきた。「金庫開きの神様」として有名である。

更に、全日本ろうあ連盟のバッヂを自社製作所で多数作り、全日本ろうあ連盟に寄贈した事もある。（現在、諏訪にある上原製作所の社長は、嘉右衛門氏の孫である。）

★1970（昭和45）年、第19回全国ろうあ者大会 in 東京において、『厚生文化賞』受賞。



全日聾連バッヂ好評
廿七年は辰年



「なつのおとしご」をマークにし
全日聾連のバッヂは諏訪市神町上
原嘉右衛門氏が指定を受け、製作
頒布しているが、懇意好評で陸統
遊文をあげている。但し洋銀は禁
止されたので銅（銀との二種）に
なっている。銅は千円、銀は百円
となっているが、早く申込みが得
ない中、銅は五円に値上げにな
る。ところが、男女別に申込みの
数が、婦人でも洋服用には差込み
マジッキの男子用がよい。なる。

広告

バッヂ、毎度御引立を蒙り有難
く御礼申し上げます。今回全日本
聾連連盟バッヂ御送致します。
至急御用命の程お願い致します。
一、純銀製バッヂ桐箱一個全百
五円、銅製 バッヂ紙包一個全参
拾円、但し洋銀製バッヂ不可です。
一、送料金五拾円也
前御送金の御方、急送致し
ます。
全日本聾連連盟指定販賣所
上原製作所
上原嘉右衛門
長野県諏訪市神町

日本聾啞ニュース・第41号（昭和26年12月1日）掲載

地元の日本聾啞協会長野部会（役員）、長野県ろうあ協会諏訪支部（支部長、相談役）他で活躍された。私立松本聾啞学校長小岩井是非雄先生とは長く親友の間柄であり、松本ろう学校同窓会の記念大会に来賓として招待された。

※上原氏（明治36年・第15回卒業）、小岩井是非雄先生（明治42年・第21回卒業）

（筑波大学附属聾学校同窓会名簿より）

参考資料：筑波大学附属聾学校「同窓会史」他、協力：北原栄

松本ろう学校同窓会東京分会・定期総会に出席して

(松本ろう同窓会役員 米田 至)

去る6月26日(日)午後1時より東京都新宿区立「元氣館」にて、松本ろう学校同窓会東京分会(会長:福与征夫)定期総会が開催され、本部より役員6名が出席しました。

牛越明男さんに久しぶりにお会いしました。そして、私の同級生の河西守人(旧姓:白池)さんにも久しぶりにお会いしました。河西さんは、前に諏訪に住んでいた後、東京で暮らしているとの話を聞きました。河西さんとは45年ぶりの再会。元気な人で、今回同窓会に入会されました。また、牛越さんも母校卒業後、就職のため東京で生活されているそうです。今回定期総会に出席してとてもよかったです。



定期総会では、会長の福与征夫さんの挨拶、本部長の葦澤正敏さんの祝辞、役員より昨年度活動報告及び来年度事業計画などの議事が行われ、会員より活発な意見が沢山出されました。

総会終了後、本部事務局長の内田さんによるビデオ上映会。「松本ろう同窓会創立70周年記念大会のスナップ」と「映像で見る小岩井是非雄先生の生涯」の素晴らしいビデオを見せて頂き、とても楽しかったです。

松本ろう学校高等部1年 藤川彩夏さん “おめでとうございます”

「イメージ通りの泳ぎできた」
 興松本ろう学校(松本市)高等部1年の藤川彩夏さんが個人メドレーでも6位以内(16)駒ヶ根市市場制が、今月6、13日にポルトガル・コインブラで開いた「世界ろう者水泳選手権大会」の女子100メートルバタフライで銀メダルを獲得した。2009年の聴覚障害者の国際総合スポーツ大会「夏季アフリック」(台湾)に続く2度目の世界舞台で手にした初のメダルに、喜びもひとしおだ。
 同種目はロシアや米國などの22人が出場。緊張もあったが、これまでの練習を信じて「集中し、イメージ通りの泳ぎができた」。他に200メートルを新たにしている。

「生まれつき耳が不自由で、5歳から水泳を始めた藤川さん。記録が伸び悩んだこともあったが、「水泳の楽しさをあらためて感じた。2年後のデフリンピックに向けてしっかり練習を頑張りたい」と気持ち新たにしている。

松本ろう学校の藤川さん 水泳世界大会で銀



コーチの飯島さんに銀メダルを見せる藤川さん(右)

信濃毎日新聞 平成23年8月27日

長ろう同窓会と松ろう同窓会との交流会を開催して

去る7月9日(土)～10日(日)長野市信州新町・信州不動温泉「さぎり荘」とふれあい公園(マレットゴルフ場)にて、長野ろう同窓会と松本ろう同窓会との交流会(マレットゴルフ大会)が開催されました。

●● 参加者の感想 ●●

長野県の山に囲まれたマレットゴルフ場に初めて行きました。コースを見ても、どのようにして打つのか理解出来ません。実際にやって見て、なるほどこういう場所は、色々なコースが、マレットゴルフにはあることがわかりました。真夏の空の下で、皆が汗を流して熱心にボールを打つ姿を見て、感動しました。楽しそうに、坂を登ったり下ったりしながら、くねくねしているコースでボールを打ちバーディ、ボキー、スコアを計算の上、M君が前回と連続優勝したそうです。勝ち負けは関係なく楽しめるマレットゴルフ交流会で、松本ろう同窓会と長野ろう同窓会との交流が深められました。参加者は19名のうち、女性は3名でした。長野ろう卒業生が多かったです。

マレットゴルフが終わってから、宿へ着いた後、大雨と雷で「ああ、セーフだ！ 運が良かった！」と、あちこちで手話で話しました。

入浴の後、夕食会中に表彰式を開き、皆がニコニコしながら、賞品をもらっている姿が素敵でした。二次会は部屋で、夜11時迄楽しく、語りながら飲んでいました。女性3名は、11時に退室後、部屋へ戻ってからすぐ寝ました。主婦だから当たり前じゃないと思いました。(失礼しますが。)

朝早く起きて入浴した後、窓を開けると冷たい空気が入ってきて気持ちがよかったです。都会と違い山の中の宿の空気が最高に、美味しく感じました。

昨日、マレットゴルフの時、S君が木の中から突然、蜂に刺されて目の辺りが腫れていました。皆さん、すぐ処置できるように準備しておいて下さい。S君は無事に治り元気です。

来年は松本ろう同窓会の当番ですので、企画から皆さんふるって参加をお願いします。本当に楽しかったので、来年も参加したいと思います。長野ろう同窓会の皆さん、御苦労様でした。ありがとうございます。来年も会いましょう！

(東京分会：下田菊恵)



長野ろう学校同窓会長のあいさつ(大塚吉晴氏)



松本ろう同窓会長・葦澤正敏氏

東海分会だより



「世界遺産を見るときめきの奈良・一泊旅行」のお知らせ

◆日時・観光：平成23年10月28日（金）→飛鳥路 29日（土）→西の京・斑鳩の観光

◆宿 泊：奈良県明日香村「飛鳥の宿」

◎東海分会会員の他、どなたでも参加できますので、

参加希望の方は、東海分会長：新海和子まで
お問い合わせください。

※詳しい内容は、チラシを配布いたしますので、ご参加ください。

【お問合せ先】会長：新海和子 ⇒ FAX052-652-3737



■ 同窓会「賛助会員」募集について

- ・「賛助会員」は、旧・現職員、PTA、親の会、同窓会会員以外（友人でも可）から募集
- ・年会費500円 ◆「同窓会だより」と「白鳩の友」を配布いたします。

◎「賛助会員」募集については、同窓会事務局長：内田博幸までお問い合わせください。

FAX0263-72-9328

■ 筑波大学附属聾学校同窓会創立120周年記念祝賀会

会期：平成23年11月26日（土）12：00～

会場：東京都品川区「ホテルラフォーレ東京」



【お問合せ先】参加希望の方は、筑波大学附属聾学校同窓会事務局までご連絡ください。

FAX047-373-1887

■ 第14回 日本聾史学会 東京大会

会期：平成23年12月17日（土）12：00～

会場：東京都渋谷区「リフレッシュ氷川」

【お問合せ先】参加希望の方は、日本聾史学会事務局までご連絡ください。

FAX082-271-2403



【あしがき】 この度、松本市で発生した長野県中部地震（6月30日）により被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。最近、災害が多いです。今後も災害があるかもしれませんので、十分気をつけてください。さて、10月9日（日）はと祭が開催（一般公開）されますので、同窓生の皆様のご参加を心からお待ちしております。

（同窓会事務局長 内田記）